



福島南ロータリークラブ

基本方針：原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
■委員：斎藤善重 斎藤信男 佐々木孝光 丹治洋子

第39回例会

平成25年5月8日(水) サンパレス福島

■会員/68名 ■出席/43名 ■出席率/63.24% ■メイクアップ/25名 ■修正/68名 ■修正率/100.00%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 ミニSL報告
吉田 和義 社会奉仕委員長
- 4 誕生祝
- 5 ロータリーの友読みどころ
クラブ広報・雑誌委員会
- 6 ゲストスピーチ
会津若松東公民館
会津古城研究会 センター長
石田 明夫 先生
- 7 閉会点鐘

会員の広場 ◆ 行事 ◆

6月12日(水)は新旧役員理事会(新理事会 17:00~18:00・新旧合同理事会引き継ぎ 18:00~)、6月19日(水)は新旧委員会歓送迎会と、いよいよ新しい年度に向けた行事が多くなりました。

今日の一面記事

全域が警戒区域となっている双葉町の再編は28日午前零時に行われ、福島第一原発から半径20キロ圏内に設定された警戒区域を抱える9市町村の再編が完了する。全体の67%に当たる51,360人は避難指示解除準備、居住制限両区域の住民として自由に出入りができるようになる。

(5/8 福島民報)

◆会長あいさつ◆

紺野 仁昭 会長



皆様こんにちは。本日のお客様をご紹介申し上げます。

お忙しい中、ゲストスピーカーとしてお越しいただきました会津古城研究会会長 石田明夫様です。

本日は、今、大変話題となっております大河ドラマ「八重の桜」の主人公、新島八重と会津戦争について、石田先生にご講話いただきます。通常の30分では時間がとても足りませんので、例会時間を変更しての例会となりました。ご了承下さいますようお願い致します。12時30分よりお話しをしていただきますので、皆様楽しみにしてお待ち下さい。

さて、今月誕生日を迎えられる方が9名いらっしゃいます。おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。後ほど記念品を差し上げたいと思います。

最後に、5月3日、4日の二日間、四季の里で行いましたミニSLの件、無事成功裏に終わり、東京日本橋東ロータリークラブの皆様も、良かったと喜んでお帰りになりました。ご参加いただきました会員

の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。この後、吉田社会奉仕委員長より、詳しく報告をいただきます。よろしくお願い致します。

◆ミニSL報告◆

吉田 和義 社会奉仕委員長



東京日本橋東ロータリークラブ主催のプロジェクトは予定通り無事終了することが出来ました。ご協力いただいた会員の皆様方には心より御礼申し上げます。

実施場所：福島市荒井「四季の里」
アサヒビール園前円形花壇

実施内容：ミニSLに客車4両を連結運行

日時：平成25年5月3日・4日

主催：東京日本橋東ロータリークラブ(21名)

共催：福島21ロータリークラブ(延べ20名)

福島南ロータリークラブ(延べ31名)

ミニSL運行・運搬・設営担当

日本橋浜町町内会有志一同(9名)

乗車人数

5月3日 約1,100名
(機関車の故障もあり午後3時で終了)

5月4日 約1,100名
(機関車の調整のため途中30分休憩、午後2時で終了)

初日機関車の動輪シャフトが外れメインの機関車を使用不能となる事故のため急遽予備の機関車で運行する。円形花壇に勾配がありミニSLの力では登れないことが判明し、若手ロータリアンは車両の後押しで汗をかきました。

最終日は乗車希望の親子連れの方が数多くお見えになりましたが、機関車がオーバーヒートし残念ながら皆様の希望を叶えることが出来ませんでした。

◆誕生祝◆

S11.05.05	安齋常三郎	会員
S13.05.29	斎藤 ミヨ	会員
S17.05.17	高橋 和之	会員
S18.05.23	植木 洋司	会員
S20.05.14	高橋 正一	会員
S24.05.06	高橋 実	会員
S25.05.24	藤原 和雄	会員
S30.05.06	廣澤 俊樹	会員
S34.05.05	伊藤 弘子	会員



9の方が誕生月を迎えられました。おめでとうございます。

◆ロータリーの友読みどころ◆

クラブ広報・雑誌委員

- 横P1 RI 会長平和の意味
- P22 福島キッズがさっぽろ雪まつりへ
- 縦P11 体に良い食事
- P21 しんたつRC加盟認証状伝達式



◆ゲストスピーチ「新島八重と会津戦争」◆

会津若松東公民館 会津古城研究会
センター長 石田 明夫 先生

会津若松市ご出身
会津若松市東市民センター並びに会津若松市教育委員会東公民館の主幹を併任
会津古城研究会会長、日本考古学協会会員所属
大河ドラマ「天地人」の福島県部分の時代考察、原作にかかわる。
「神指城」や「若松城」などの調査・研究、古代・中世・近世の焼き物の調査などに造詣が深く、著書多数、昨年4月より今年の3月まで1年間にわたり福島民友新聞に「新島八重の生涯」を連載。著作・論文集・関係書籍・テレビ・新聞など、これまで数え切れない程の執筆がございますが、特に昨年出版されました「新島八重を歩く」や「八重と会津戦争」は大変話題になっております。詳しくは、石田明夫先生で検索して頂きますとご覧になることが出来ます。



新島八重の生涯

- 弘化2年(1845)11月3日、八重米代二丁目の山本家で生まれ、砲術を父や兄から教わる。会津時代は山本八重子。武士階級の女子は子とつくのが普通であった。八重は6人兄弟(長男覚馬・妻うら子・姪峰、三女八重子、弟三郎)
- 元治2年(1865)頃、覚馬のあとを継いだ藩校日新館教授、兵庫県出石藩出身の川崎尚之助と結婚
- 慶応4年(1868)に八重離婚(23歳)、会津美里町新鶴付近の出入りの農家へ母らとともに一時移り住む。
- 明治3年(1870)八重らが、川崎尚之助の知り合いで砲術の弟子だった米沢蝶内藤新一郎宅へ出稼ぎ。
- 明治4年(1871)覚馬から薩摩藩兵を仲介し、新鶴付近の出入りの農家に手紙が届き、9月、米沢から京都へ行く。八重らはキリスト教に入信。
- 明治8年(1875)4月、襄は京都を訪れ、山本覚馬と会い、学校建設を勧められる。
- 明治8年(1875)11月29日、同志社英学校が開校。(校名は覚馬が名付ける)
- 明治9年(1876)1月2日、京初の洗礼、3日襄と八重が結婚。京初のキリスト教結婚
- 明治24年(1891)1月22日、若松に会津若松教会設立。大正5年に宮町へ移転。
- 明治24年(1891)、八重、日本赤十字社に加盟。のち、日清、日露戦争に従軍。
- 昭和7年(1932)6月14日、京都で87歳で死去。墓は京都にあり。

今月・来月のプログラム

- 5月15日(水) 移動例会(永京寺)
- 5月22日(水) ガバナー補佐訪問
- 5月29日(水) 休会
- 6月05日(水) 「ロータリーの友」読みどころ
誕生者お祝い
クラブ協議会 委員会活動報告
①クラブ奉仕委員会
- 6月12日(水) クラブ協議会 委員会活動報告
②奉仕プロジェクト管理委員会

一編集後記一

石田先生の講演は、史実とテレビドラマの内容が必ずしも一致していないことや、歴史の裏話など、大変興味深いものでした。紙面の関係でその詳細を掲載できないことが残念です。(松崎)